

都市再生整備計画 事後評価シート

桜井駅南地区

令和2年3月

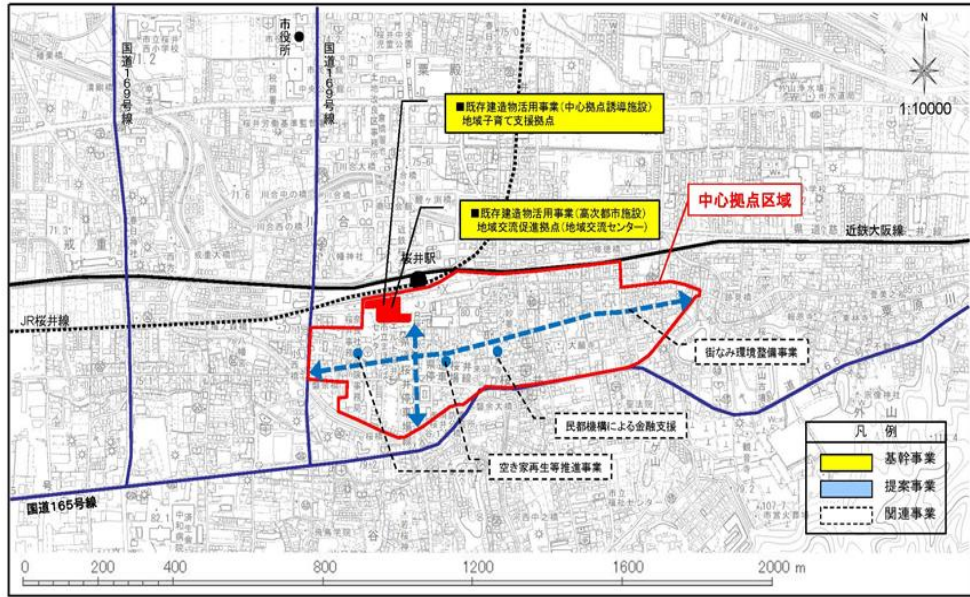
奈良県桜井市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県		市町村名	桜井市		地区名	桜井駅南地区			面積	26.2ha			
交付期間	平成28年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	529,392,609	国費率	0.499					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設):まほろばセンター(社会福祉施設)、既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設):まほろばセンター(図書館施設)										
			提案事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 ①既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)まほろばセンター(図書館施設) ②既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)まほろばセンター(社会福祉施設) ※ ②のまほろばセンター(社会福祉施設)を地域子育て支援拠点に変更			削除/追加の理由 ①第2回エルト桜井リニューアル事業手法等検討委員会にて、市民活動交流拠点を整備することで利害関係者の合意が得られたため ②第2回エルト桜井リニューアル事業手法等検討委員会にて、市民活動交流拠点を整備することで利害関係者の合意が得られたため、まほろばセンター(社会福祉施設)を縮小し、事業箇所名を「地域子育て支援拠点」に変更して実施することとなったため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 中心市街地の公益施設利用者数の数値目標(3,000人→36,730人)変更					
		提案事業												
	新たに追加した事業	基幹事業	既存建造物活用事業(高次都市施設)市民活動交流拠点 ※ 最終的に名称を「市民活動交流拠点」から「地域交流促進拠点」に変更			第2回エルト桜井リニューアル事業手法等検討委員会にて、市民活動交流拠点を整備することで利害関係者の合意が得られたため			中心市街地の公益施設利用者数の数値目標(3,000人→36,730人)変更					
		提案事業												
	交付期間の変更	当初	平成28年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	公共交通の利用者数	人	220	H25	300	H30	モニタリング	評価値	×	あり	リニューアルオープンが当初予定の3月から翌年度5月にずれ込んだため、評価値については令和元年度の測定数値を使用(※)。利用者数は年々減少傾向であったが減少割合が改善されたため一定の効果は得られた。本事業により、桜井駅南口への来訪者は増加したが、自家用車での来訪が多く、大幅な利用者数増加にはつながっていないと考えられる。	●	
											なし			
	指標2	中心市街地の公益施設利用者数	人	2,425	H26	36,730	H30			73,487	○	あり	リニューアルオープンが当初予定の3月から翌年度5月にずれ込んだため、評価値については令和元年度10月末時点の測定数値を使用(※)しているが、目標を大幅に上回った。本事業と併せて、エルト桜井1階にスーパー等の店舗誘致を行ったことで相乗効果が得られ、利用者数が大幅に増加した。	
											なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1							モニタリング	評価値					
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	中心拠点を整備したことで、市内外から集客することができている。そうしたこともあり、桜井駅周辺地区で創業しようとする人を支援する事業や中心拠点であるエルト桜井を活用した事業など、新しい試みが増えた。													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング						都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス						都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築						都市再生整備計画に記載し、実施できた								
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

※ 平成30年2月に工事が完了し、3月にリニューアルオープンを予定していたため、数値を時点測定して年間の数値を推計する予定であった。しかし、工期終了が3月に変更されてそれに伴ってリニューアルオープンの時期が年度を越えてしまったため、平成30年度の数値を測定することができなくなった。そのため、目標年度評価値については令和元年度に測定した数値を用いる。なお、指標2の目標値については市内の類似施設利用者数及び同規模自治体の同種施設利用者数を参考にしているため、変更を要しない。

様式 2－2 地区の概要

桜井駅南地区(奈良県桜井市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:桜井駅周辺の都市機能強化による、多世代がにぎわう利便性の高い中心市街地の形成を目指す 目標1 公共施設の機能強化による都市の求心力向上 目標2 交流促進による賑わいの創出と良好な住環境形成		公共交通の利用者数	単位:人/日	220	H25	300	H30	149	R1
		中心市街地の公益施設利用者数	単位:人/年	2,425	H26	36,730	H30	73,487	R1
			単位:						
			単位:						
			単位:						
□ エルト桜井2階の整備(基幹事業・地域子育て支援拠点)   ▲ エルト桜井 外観 ▲ ドレミの広場 □ エルト桜井2階の整備(基幹事業・地域交流促進拠点)    ▲ 市民活動交流拠点 ▲ ひみっこぱーく ▲ 交流室 									
まちの課題の変化	・エルト桜井がまちの中心拠点として整備され、市内外から人が集まってきており、整備前と比べて大幅な集客の増加となった。 ・エルト桜井2階のリニューアルと合わせて1階に新規店舗がオープンしたが、エルト桜井利用者の駅前周辺既存商業施設への周遊にはつながっておらず、桜井駅周辺地区全体の経済効果には大きく波及できていない。 ・エルト桜井の建物内に既存の駐車場があるが、エルト桜井の整備に合わせて前に駐車場車6台分の整備を行った。無料ということもあり利用も多いが、スペースの拡張を望む声もある。								
	今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・整備した施設の適切な維持管理を行い、整備直後の状態を維持するとともに、施設内の賑わいを生み出すための運営を実施する。 ・レンタカーやレンタサイクルの提案、荷物一時預かりや土産の購入、宿泊施設の紹介などワンストップに行える観光案内施設の創設を検討する。 ・エルト桜井の利用者を駅前広場の既存商業施設や観光スポットへの周遊につなげ、消費活動を促す仕組みを検討する。							